

2/28 日本宝くじ協会助成事業完了のご報告

この度、平成 30 年度の一般財団法人宝くじ協会の助成を受け、胃胸部デジタル装置搭載車を配備しました。デジタル検診車の導入により、高精細な撮影によって心臓及び肺疾患の早期発見、じん肺・石綿等の職業病の早期発見、胃癌、胃潰瘍等の消化器疾患の早期発見、またデジタル撮影により従来アナログ撮影と比べ画像処理時間が 2 / 3 となり、健康診断を効率的に実施することが可能となりました。

さらに企業労働者及び地域住民の巡回検診を実施してデータを電子保存し、各地域の中核病院及び健診センターと医療連携を計り、人々の健康管理に寄与いたします。また、耳が聞こえづらい方、外国人の方々への検査指示を分かり易く伝える胃部エックス線検査支援システム「e-検査ナビ」の搭載により、従来音声だけでされていた指示内容が、検査室内の被検者に文字、合成音声、アニメーション、手話でも表示されます。言語は日本語、英語など 8 カ国語に対応しています。これにより受診者の不安が解消され、安全、安心、高精度の検査が可能となりました。





